

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②事業者情報

名称：	国立障害者リハビリテーションセンター	種別：	自立訓練（生活訓練）
代表者氏名：	芳賀 信彦	定員(利用人数)：	30 名
所在地：	〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1	TEL	04-2995-3100

③評価実施期間

令和7年5月14日（契約日）～令和8年1月16日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

家族教室を通じた障害理解の促進と協働的支援体制の構築が図られている

・高次脳機能障害への対応において、家族との連携を重視した支援体制が構築されている。特に「家族心理教育プログラム（家族教室）」は、障害に対する理解を深めるとともに、家族間の交流を促進する機会として機能している。対象は在籍者だけでなく修了者の家族にも広げられており、継続的な支援関係の維持につながっている。また、教室終了時にはアンケートを実施し、家族からの意見を今後の運営に活かす取り組みが行われている。こうした取り組みにより、支援者と家族が協働する関係性が築かれており、利用者の生活環境を多面的に支える柔軟で実効性の高い支援が実現している。

就労移行支援加算を活かした計画的で質の高い復職支援に取り組んでいる

・自立訓練（生活訓練）を通じて生活面の基盤を整えたうえで、復職を希望する利用者には就労準備訓練を個別に提供し、休職先の職場に対しては障害特性や配慮事項の共有、業務内容の調整に関する助言も行われている。こうした職場との三者の支援は、復職後の定着を見据えた実践的支援として行われている。また、就労支援センターなどの関係機関と連携し、支援の多面的展開が図られている。さらに、今年度は就労移行支援体制加算（単位96/日）が算定されており、加算要件に基づいた人的体制や計画的支援の質の高さがうかがえる。

◇特にコメントを要する点

サービス利用につながるための情報発信の強化が望まれる

・センターホームページやSNSにおいて理念・基本方針、第三者評価の受審結果などをはじめ、各種情報を公開している。運営面（予算など）については、公共調達審査会・会計課の結果などを公開している。センターは制度、研修、研究など幅広く事業を行っており、医療・福祉・職業訓練などを一貫提供中核機関としての役割を担っている。生活訓練課のWebサイトは一般的な訓練の概況しか情報がなく、日常生活を送る障害者やその家族、地域住民が理解しやすいストーリー（利用者の声や成功事例など）が少ないことから、もっと噛み砕いた内容や動画などを通じて幅広い層へのアプローチを期待したい。

マニュアルの定期的な見直し時期や基準を設けることで、標準化の更なる推進が期待される

・生活訓練課では、「新規採用等職員用業務マニュアル」「生活訓練OT業務マニュアル」「高次脳機能障害生活訓練マニュアル」の3種の業務マニュアルを整備し、対象職員に応じて配付・活用している。特に新規採用や若手職員に対しては、ベテラン職員との連携によるOJTとチェックシートの活用により、実践を通じた業務習得と課題抽出が行われ、サービスの質の平準化を実現している。一方、マニュアル改定は必要に応じて見直しされているが、担当者が定まっておらず、現時点で主任や課長の判断に委ねられている状況で、見直しの根拠が不透明である。今後は、見直しの基準を設けることで、質の標準化をさらに向上させ、組織全体の支援力向上が期待される。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、外部有識者の方々に評価をしていただいたことで、日頃の支援や訓練等を振り返る大変良い機会となりました。コメントいただいた点については、当課としても取組が必要な課題として関係部署間で共有し、具体的な対応策を検討してまいります。今後も引き続き、サービスの質の向上と充実に努めてまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり